

○議長（綿貫民輔君） 厚生労働委員長森英介君解任決議案を議題といたします。

提出者の趣旨弁明を許します。山井和則君。

---

厚生労働委員長森英介君解任決議案

〔本号末尾に掲載〕

---

〔山井和則君登壇〕

○山井和則君 民主党の山井和則です。

民主党・無所属クラブを代表しまして、ただいま議題となりました厚生労働委員長森英介君解任決議案の提案理由を説明いたします。（拍手）

主文

本院は、厚生労働委員長森英介君を解任する。

以上であります。

以下、提案理由の説明をいたします。

厚生労働委員長森英介君は、委員長就任に当たり、みずから、我が国は、経済不況を脱することなく、抜本的な医療及び年金、雇用失業対策などの改革が求められておりと、医療の抜本改革の必要性を述べ、同時に、委員長の重大な職責を痛感し、公平かつ円満な委員会運営を公約したのであります。

委員会で審議されました健康保険法等の一部を改正する法律案は、抜本改革を先送りし、サラリーマンや高齢者の自己負担を大幅にアップするもので、この改正により、多くの患者さんが医療にかかるのを手おくれになり、命を失うことにもなりかねません。

同時に、この深刻な不況の中、さらに自己負担を大幅にアップすることは、一九九七年の自己負担二割へのアップの例を振り返るまでもなく、ただでさえ近年急増している失業者や家庭崩壊、自殺者をますますふやし、景気回復をおくらせることは必至であります。

このように、国民の命と生活に直接かかわる法案であり、世論調査でも重要四法案の中で最も反対意見が強いこの法案は、慎重にも慎重を期して審議することが求められておりました。

にもかかわらず、六月十四日、厚生労働委員長森英介君は、突然、委員会審議を打ち切り、野党各党が強く抗議する中、与党単独で採決するという、みずからの公約をみじんも省みない暴挙を行ったのであります。

そもそも、この法案は重要広範議案と位置づけられているにもかかわらず、総理の総括締めくくり質疑も中央公聴会も行わず、地方公聴会、名古屋と宇都宮においては、与党推薦の公述人も含め、ほとんどの公述人がこの法案に対する問題点を次々と訴え、同時に、この公聴会の意見を生かしてさらに慎重に審議を続けることを要望したのであります。にもかかわらず、その翌日に強行採決を実行するということは、地方公聴会の存在意義をも否定する暴挙であります。（拍手）

十四日の当日は、ワールドカップの日本戦で国民の注目がそちらに移る中、どさくさ紛れにマスコミの目をそらし、国民を欺き、強行採決をしたこのやり方は、こそくとしか言いようがありません。（拍手）

おまけに、十四日の強行採決が行われた当日、当初は、小泉総理本人が、自分もワールドカップの日本戦を見に行きたいと言っていたそうではありませんか。このような小泉総理の緊張感と責任感のなさに、国民は、怒りを乗り越えて、あきれ返っております。

加えて、法案提出の責任者であります坂口厚生労働大臣までもが、強行採決の翌週の十八日の閣議後の記者会見で、社会保障の議論は、十分に審議を尽くして、与野党ともに出席のもと採決する問題であると語っているではありませんか。にもかかわらず、厚生労働委員長森英介君が強行採決を行ったこの行為は、委員長の重大な職責に反するものであると言わざるを得ません。

よって、ここに、厚生労働委員長森英介君の解任決議案を提出し、速やかに委員長の解任を求めるものであり

ます。(拍手)

以上が提案理由説明であります。

昨日、鈴木宗男議員が逮捕されました。今、国会の国民からの信頼は地に落ちております。この信頼を取り戻す第一歩として、この委員長解任決議案が満場の議員各位の御理解と御賛同を得られますことを心よりお願いいたします。提案理由の説明とさせていただきます。

御清聴ありがとうございました。(拍手)

---